

授業科目	卒業論文 (文屋)				単位	4		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31703J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3			
担当教員	文屋 典子							
授業概要	専門研究での取り組みを基礎に各々が設定した研究テーマについて論文の執筆を行う。指導は専門研究の担当教員が行う。なお、卒業論文発表会を実施する。							
学生が達成すべき行動目標	専門領域の研究プロセスを学び、その成果を卒業論文としてまとめることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	70	0	100	
知識・理解 (DP1-1)				3	7		10	
知識・理解 (DP1-2)				3	7		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				3	7		10	
思考・判断 (DP2-2)				3	7		10	
関心・意欲 (DP3-1)				3	7		10	
関心・意欲 (DP3-2)				3	7		10	
態度(DP4-1)				3	7		10	
態度(DP4-2)				3	7		10	
態度 (DP4-3)				6	14		20	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
専門領域の研究プロセスを学び、これまでの研究成果を踏まえた上で、自らの論文の課題を設定し、適切な研究方法を実践し、独創性のある卒業論文として成果をまとめ、発表することができる。				専門領域の研究プロセスを学び、各自(各グループ)が設定したテーマに関して研究を深めることができる。その成果を卒業論文としてまとめ、発表することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・卒業論文の履修者は4年次に履修登録を行う。なお、その際は事前に専門ゼミの担当教員に相談すること。			演習他		個人あるいはグループで、設定したテーマに関して研究し、		60

	<ul style="list-style-type: none"> ・指導は専門ゼミの担当教員が行う。必要に応じて副指導教員を依頼することができる。 ・論文執筆の詳細については別途配布する「卒業論文作成の手引き」を参照すること。 ・卒業論文発表会を実施する(2月中旬を予定)。 <p>※卒業論文の執筆は、個人でもグループでも構いません。</p>		その成果を論文としてまとめる。	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	個人あるいはグループが設定したテーマに関連するこれまでの授業内容等について、振り返っておく。			
テキスト	担当教員より紹介します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員より紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	卒業論文は大学4年間の集大成といえるものです。また、論文を執筆するには研究領域・テーマに関する幅広い専門知識が必要となります。 日ごろの講義に加えて自主学習にも努めてください。			
達成度評価に関するコメント	担当教員より提示します。			

